



THE NAGASAKI

長崎日英協会会報

BUND



写真：長崎大学附属図書館所蔵

2023・6

Vol. 26

上野彦馬アルバム所載の1葉。明治3年（1870）に創架された初代の松ヶ枝橋（当時は下り松橋と呼んだ）は、中央に石積みの橋台を置き、そこから3本の束を立てて支える木製の桁橋であった。よく見ると欄干には地覆（土台）がなく、手すりごと所々に止め金を巻いて桁に固定していたことが分かる。下り松の運上所（税関）派出所の前にあった突堤から撮影したもの。

2022年度理事会・通常総会・講演会開催

2022年6月17日(金)、平安閣サンプリエールで「2022年度長崎日英協会理事会・通常総会」を開催しました。感染対策に留意して、3年ぶりの対面開催となった総会には約30名が出席し、「2021年度の事業・決算報告」及び「2021年度の事業・決算報告」等が審議承認されました。総会終了後は当協会の幹事でもある「グラバーパイプバンド」のウォーカー・ジェームス正良氏による、バグパイプの演奏をしていただきました。



2022年度通常総会

キルトの衣装に身を包み高らかに吹き鳴らす迫力ある音色が会場に響きわたり、「フラワー・オブ・スコットランド」などの有名な楽曲を楽しみました。会場からはバグパイプにまつわる質問も出て、最後は「螢の光」の原曲であるスコットランド民謡「オールド・ラング・ザイン」の演奏で会は終了しました。



ウォーカー・ジェームス正良氏



理事会・総会の様子

『クリスマス夜会2022』開催

2022年12月15日(木)、ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルで「長崎日米協会・長崎日英協会合同クリスマス夜会2022」を開催しました。コロナの収束が未だ見えない中での開催でしたが、約70名の皆様にご参加をいただき前年同様、着座による美味しい料理とお酒、そして音楽を楽しむスタイルの会となりました。

パーティーは宮脇雅俊長崎日米協会会长の挨拶で開会。大石知事よりご挨拶をいただき、また在福岡米国領事館アシーケ首席領事からはビデオメッセージを寄せていただきました。終始和やかな雰囲気の中、長崎交響楽団によるクリスマスアンサンブルの演奏や毎年恒例のプレゼント抽選会が行われ、会場は大いに盛り上りました。

楽しいひと時は、三井一明長崎日英協会会长の挨拶で終演となりました。



会場の様子



長崎交響楽団の皆さん



三井一明 長崎日英協会会长

第43回グラバー顕彰式に出席

2022年9月17日(土)グラバー園で、長崎市主催の「第43回グラバー顕彰式」が2年ぶりにリアル開催されました。式典では、わが国の近代化に大きな役割を果たしたトマス・ブレイク・グラバー氏の功績を称え、英国と親交のある団体等の代表者が献花を行いました。当協会からは山口事務局長が出席しました。



ながさき異文化ちゃんぽんフェスタにブース出展



2023年1月14日(土)長崎ブリックホールで開催された、長崎市主催の「ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ」にブースを出展しました。英国文化についての紹介やお菓子のプレゼントなど訪れた子どもたちにイギリスを感じてもらう機会となりました。

第31回長崎県高等学校英語スピーチコンテストに後援

2022年10月2日(日)に長崎県立西陵高等学校で開催された第31回長崎県高等学校英語スピーチコンテストは県内9名が参加して行われました。

英語スキルの向上とともに英語で伝えたい明確な想いがあつて参加を決めたという門さん、英語を話すことの楽しさとともに英語で表現することの難しさを実感したという林田さん。

英語を話すことが好きで挑戦した只熊さんはさらに英語力を磨いて来年も挑戦するつもりだと感想を寄せてくださいました。

【審査結果】	1位	門 優帆	長崎東高等学校 2年
	2位	林田 芽依	口加高等学校 2年
	3位	只熊 莉奈	諫早高等学校 1年



第17回長崎県高等学校 英語ディベート大会に後援



2022年10月8日(土)に長崎県立長崎東高等学校で開催された第17回長崎県高等学校 英語ディベート大会には県内5校6チーム30名が参加しました。大会では活発な議論が交わされ、他校の生徒と英語を通じて交流する機会となりました。審査の結果、1位の佐世保北高等学校Aと2位の佐世保北高等学校Bの2チームは九州地区高等学校英語ディベート大会への出場を決めました。

第10回活水女子大学 エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテストに後援

2022年11月6日(日)に「グローバル社会の一員として考える」をテーマにオンライン開催された第10回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテストは予備審査で選出された10名の大学生が参加して行われ、対面での大会に引けを取らないレベルの高いものとなりました。

- 第1位 外山 花音（とやま かのん）福岡女学院大学国際キャリア学部国際英語学科1年
スピーチタイトル: The Nikkei: Japanese Descendants Around the World
- 第2位 森 芽衣花（もり めいか）活水女子大学国際文化学部英語学科4年
スピーチタイトル: The Importance of Self-Awareness and Mutual Respect
- 第3位 米澤 知里（よねざわ ちさと）福岡大学医学部看護学科1年
スピーチタイトル: Let's Talk About Education

長崎日英協会創立 25 周年記念事業「チャールズ3世国王即位記念植樹式」

2023年3月22日(水)グラバー園で「チャールズ3世国王即位記念植樹式」を行いました。

この植樹は当協会の創立 25 周年記念事業の一環で、チャールズ3世国王陛下の即位をお祝いするとともに、故エリザベス2世女王陛下の70年間に渡る功績を称賛し、長崎と英国との更なる友好関係の発展を祈念して実施したものです。

式には在大阪英國総領事館のキャロリン・デービッドソン総領事をはじめ、約30名の会員や関係者の方々にご列席をいただきました。



今回植樹したイングリッシュ・オークの苗木

来賓挨拶でキャロリン・デービッドソン総領事は「故エリザベス女王とチャールズ3世が自然を大切にしていたことを考えると植樹はとてもふさわしく、イギリスと日本には長い歴史があり、明るい未来につながっている」と述べられ、続いて三井一明長崎日英協会会长と来賓の方で「イングリッシュ・オーク」の苗木を植樹しました。



キャロリン・デービッドソン総領事



植樹の様子



三井一明 長崎日英協会会长



ご列席の皆さま

『長崎日英協会』25年の歩み

長崎と英国の民間ベースの友好親善をより一層深めるため、1997年3月24日に会員数202名で発足した長崎日英協会。

設立総会は当時の駐日英國大使ご夫妻、英國総領事ご夫妻をはじめ関係者約150名の出席のもと、長崎東急ホテルにおいて盛大に開催されました。



訪英団一行

2007年11月2日には「設立10周年記念パーティー」を開催し、日英両国間の友好親善により一層貢献できる有意義な活動を続けていくことを誓いました。



野崎元会長を偲んで

1997年3月の当協会設立時より2005年5月まで9年間もの長きに渡り、初代会長として当協会の活動と発展のためにご尽力いただきました野崎元治元会長が2023年5月20日にご逝去されました。

日頃より古からの長崎と英国との深い関わり合いを大切にした協会活動を重視され、音楽夜会などを通じた日英交流に、積極的に取り組んで来られました。

ここに野崎元会長のこれまでのご功績に深く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 山口 和樹)



設立記念式典の様子

また、1997年7月4日には親善訪英団を結成し、一行26名がグラバーゆかりの地スコットランドのアバディーン市を訪れました。



設立10周年記念パーティーの様子

創立20周年を迎えた2017年10月8日にはかねてより交流があり、この年に創立25周年を迎えた旭川日英協会と合同で記念祝賀会を開催しました。



長崎日英協会
野崎元治 初代会長

こんにちは！クリシュです！

初めてまして。

私は長崎外国語大学現代英語学科の准教授をしていますクリシュ・クマーと申します。出身はウェールズという国です。多くの方がこの国についてよく知らないと思いますので、今回紹介させていただきます。ウェールズは英国の西部、イングランドの隣にあり、山が多く深い緑色を持つ森林や美しい海岸（ビーチ）が沢山あります。首都カーディフの中心にはとても大きいお城があり、ほとんどの町や都市の中心部、近隣にもお城があります。

「英國の食べ物」と聞くと、ステレオタイプとして紅茶やアフタヌーンティー以外は味気がなく不味いイメージがあるかと思いますが、英國にも美味しいものは沢山あります。そこで、ウェールズの美味しい二つの料理について紹介したいと思います。



一つ目はラバーブレッド (Laverbread) という食べ物です。ブレッドといってもこれはパンではなく、ペースト状の青のりです。オートミールと混ぜて成形して焼き、ベーコンや貝と一緒に頂きます。二つ目はグラモーガン・ソーセージという料理です。ソーセージと言っていますが肉や腸皮は使用しておらず、ケアフェリチーズとリーキ (西洋ネギ)、パン粉を使った料理で、たまにリーキの代わりにねぎや玉ねぎを使います。ウェールズを訪れた際は是非食べてみてください。

私たちはウェールズ語という独自の言語を持っていますが、独自のスタイルの英語も持っています。例えば、多くの人、特に若い人たちが「lush」という言葉を使いますが、これは形容詞で、きれい、素晴らしい、良い天気という意味になります。日本人が「良い」を様々な用途で使う場面をよく耳にしますが、これと同じような使い方ができるかもしれません。



日本について書かれた本やガイドブックの多くは、関東や関西を中心に書かれているので、「なぜ長崎に来たのですか」とよく聞かれます。私は学生時代、歴史の授業で日本への核攻撃について学びました。その後、大学で原子核物理学を学び、長崎で何が起きたのかを詳しく学びました。そんな話を聞いて、ぜひ一度長崎を訪れてみたいと思うようになりました。三年生のときに長崎に留学する機会があり、その際にすぐに馴染むことができてこの国が好きになりました。長崎は山が多く、海が近く、人々は礼儀正しく、とても歓迎され、フレンドリーなところが、故郷であるウェールズと似ています（しかし、長崎はウェールズと比べると天気はずっと暖かく、雨が少ないです）。



大学院を卒業し、宮崎で一年間働いた後、幸運にも今の仕事を得ることができ、大好きな長崎に来ることができました。

長崎は、大阪や東京から遠く離れた場所に位置しているため、外国人から見過ごされがちだと感じています。しかし、日本史の中で最も重要な歴史的出来事のいくつかは、この地と深く関係があります。鎖国時代以前と以後の外国人の来訪をはじめ、この地で始まった外国学問の普及もあります。また、出島を通しての外交、そして日本の鉄道の知識もこの地で始まりました。

この地で生活し、働くことができることは非常に光栄なことであり、長崎の人々に感謝しています。

新規会員募集中！

長崎日英協会では新規入会の会員を募集中です。会員の皆さま方の中でご紹介いただける方がいらっしゃいましたら是非ともご加入をお奨めいただきますようよろしくお願ひいたします。

年会費	個人会員	5,000円
	法人会員	10,000円

編集・発行/長崎日英協会（株式会社長崎経済研究所内）

住所：〒850-8618 長崎市銅座町1番11号 十八親和銀行本店内

担当者：山口・中尾・柄本

TEL:095-828-8859 FAX:095-821-0214